	No	評価項目	評価内容	配点	
法人の実績に基づく業務の 継続性・安定性	1	法人理念、運営方針等	法人理念、運営方針等から受託に適した法人であるか。	5	
	2	財産目録、貸借対照表、損益計算書、納税証明書等	安定的、継続的に法人運営が可能な財産基盤があるか。	5	
	3	高齢者福祉事業等の実績	在宅介護支援センター等高齢者福祉事業等で実績があり、その知識、経験等を十分に活かすことが期待できるか。	15	
	4	地域活動の実績	介護教室の実施、認知症についての講演や困りごと相談等地域活動の実績があり、今後応募圏域での地域との連携が期待できるか。	15	
応募圏域における業務の実 効性	5	応募理由	運営にかける意欲は十分か。	10	
	6	センター運営における方針	「地域共生社会」について理解し、応募圏域内における地域課題や法人の得意分野、高齢者福祉事業等を踏まえて、どのような方針のもとで「地域包括ケア」の中核機関としてセンターを運営していくのか。	15	
	7	公正・中立性の確保に対する考え方や取り組みについて	公正・中立性の確保について正しく理解したセンター運営が期待できるか。	10	
	8	地域包括支援センターの事務所と法人の既存事業所との分離が確保されているか。	公正・中立なセンター運営の観点からどのような配慮をしているか。	5	
	9	総合相談支援業務について	総合相談支援業務について正しく理解し、実行できる体制であるか。	5	
	10	権利擁護業務について	権利擁護業務について正しく理解し、実行できる体制であるか。	5	
	11	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務について	地域における連携・協働の体制づくりや、介護支援専門員に対する支援が期待できるか。	5	
	12	介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）について	介護予防ケアマネジメントの目的について理解しているか。	5	
	13	認知症に関する取り組みについて	認知症の人やその家族への支援についての考え方は適切か。	5	
	14	認知症地域支援推進員の配置について	認知症地域支援推進員の役割について正しく理解し、配置についてどのように計画しているか。	10	
	15	地域ケア会議について	地域ケア会議の目的について正しく理解し、どのように取り組んでいくか。	5	
	16	地域の福祉関係者等との連携に対する考え方について	地域の様々な主体（民生委員、老人クラブ、地区社会福祉協議会等）との連携が果たす役割を理解するとともに、応募圏域において、具体的にどのような連携を図っていくのか。	10	
	17	専門機関との連携に対する考え方について	専門機関（医療機関・権利擁護支援センター・人権福祉センター等）との連携が果たす役割を理解するとともに、応募圏域において、具体的にどのような連携を図っていくか。	10	
	18	経験ある職員の配置	職員の資質の確保のために、相談援助業務の経験がある職員を何人配置できるか。	15	
	19	職員研修等の実施について	人材育成方針が整っているか。学会や職能団体が主催する研修会への職員の参加について、法人としてどのような支援があるか。	15	
	20	利便性がよい場所に設置しているか。	地域包括支援センターが、最寄りの公共交通機関からの距離が近く、高齢者が行きやすい場所に設置されているか。	5	
	21	高齢者・障がい者に配慮した事務所か。	高齢者・障がい者に配慮した地域包括支援センター事務所となっているか。	5	
	22	事務所は十分な広さを有し、相談スペースを設けているか。	執務スペースが十分確保されているか。また、事務所内にプライバシーに配慮した相談スペースを設けているか。	5	
	基本的なリスク管理	23	個人情報の保護・管理の体制	個人情報の保護・管理について適切な体制が整っているか。	5
		24	事故、緊急時の対応	事故、緊急時の体制が整っているか。	5
25		苦情への対応	マニュアルの整備等苦情対応の体制が整っているか。	5	
合計点数				200	